

CASBEE-建築(新築)2016年版
福岡大井町ストックヤード(整備計画)

横に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

スコアシート		竣工段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
		Q1 建築物の環境品質			0.30			2.6	
Q1 室内環境						2.4			
1 音環境		2.0	0.15			2.0			
1.1 室内騒音レベル		1.0	0.40						
1.2 遮音		2.6	0.40						
1 開口部遮音性能		3.0	0.60						
2 界壁遮音性能		2.0	0.40						
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)									
4 界床遮音性能(重量衝撃源)									
1.3 吸音		3.0	0.20						
2 温熱環境		1.9	0.35			1.9			
2.1 室温制御		1.7	0.50						
1 室温		1.0	0.38						
2 外皮性能		1.0	0.25						
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38						
2.2 湿度制御		1.0	0.20						
2.3 空調方式		3.0	0.30						
3 光・視環境		2.8	0.25			2.8			
3.1 昼光利用		2.4	0.30						
1 昼光率		2.0	0.60						
2 方位別開口									
3 昼光利用設備		3.0	0.40						
3.2 グレア対策		3.0	0.30						
1 昼光制御		3.0	1.00						
3.3 照度		3.0	0.15						
3.4 照明制御		3.0	0.25						
4 空気質環境		2.8	0.25			2.8			
4.1 発生源対策		3.0	0.50						
1 化学汚染物質		3.0	1.00						
4.2 換気		3.0	0.30						
1 換気量		3.0	0.33						
2 自然換気性能		3.0	0.33						
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33						
4.3 運用管理		2.0	0.20						
1 CO ₂ の監視		1.0	0.50						
2 喫煙の制御		3.0	0.50						
Q2 サービス性能			0.30			3.1			
1 機能性		2.8	0.40			2.8			
1.1 機能性・使いやすさ		2.0	0.40						
1 広さ・収納性		3.0	0.33						
2 高度情報通信設備対応		2.0	0.33						
3 バリアフリー計画		1.0	0.33						
1.2 心理性・快適性		3.3	0.30						
1 広さ感・景観		3.0	0.33						
2 リフレッシュスペース		3.0	0.33						
3 内装計画	意匠性と機能性に配慮し、事前にパースや現物サンプルを用いて選定し	4.0	0.33						
1.3 維持管理		3.5	0.30						
1 維持管理に配慮した設計	仕上材はメンテナンスがしやすい物を選び、外部は錆びにくい素材と	4.0	0.50						
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50						
2 耐用性・信頼性		2.7	0.30			2.7			
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50						
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80						
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20						
2.2 部品・部材の耐用年数		2.8	0.30						
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20						
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20						
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10						
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10						
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20						
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.20						
2.4 信頼性		2.2	0.20						
1 空調・換気設備		1.0	0.20						
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20						
3 電気設備		3.0	0.20						
4 機械・配管支持方法		1.0	0.20						
5 通信・情報設備		3.0	0.20						

3 対応性・更新性			3.7	0.30	-	3.7
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30	-	-
1 階高のゆとり		水下側の軒高さで4.15m確保した	5.0	0.60	-	-
2 空間の形状・自由さ		耐力壁の無い長大スパンの構造とした	5.0	0.40	-	-
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	-	-
3.3 設備の更新性			3.4	0.40	-	-
1 空調配管の更新性		乾式間仕切り壁、外壁を採用し、機器更新時に躯体の改修を不要と	4.0	0.20	-	-
2 給排水管の更新性		向上	4.0	0.20	-	-
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-
Q3 室外環境(敷地内)				0.40		2.5
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性						3.6
LR1 エネルギー				0.40		4.2
1 建物外皮の熱負荷抑制				-	-	-
2 自然エネルギー利用			3.0	0.13	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEI _m] = 0.27	5.0	0.63	-	5.0
4 効率的運用			3.0	0.25	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-
集合住宅の評価			-	-	-	-
4.1 モニタリング			-	-	-	-
4.2 運用管理体制			-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル				0.30		3.0
1 水資源保護			3.0	0.20	-	3.0
1.1 節水			-	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	1.00	-	-
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			2.8	0.60	-	2.8
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.11	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.22	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		割栗石、再生クラッシュラン	3.0	0.22	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.22	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20	-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70	-	-
1 消火剤		環境配慮した機器を選定した	4.0	0.33	-	-
2 発泡剤(断熱材等)		発泡剤を用いた断熱材を使用していない	5.0	0.33	-	-
3 冷媒			3.0	0.33	-	-
LR3 敷地外環境				0.30		3.4
1 地球温暖化への配慮		劣化が少なく、メンテナンスも容易な材料を使用した	4.4	0.33	-	4.4
2 地域環境への配慮			3.1	0.33	-	3.1
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.25	-	-
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-
3 交通負荷抑制		駐車場駐輪場を十分に設けた	5.0	0.25	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-
3 周辺環境への配慮			2.7	0.33	-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-
1 騒音			3.0	0.33	-	-
2 振動			3.0	0.33	-	-
3 悪臭			3.0	0.33	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			2.3	0.40	-	-
1 風害の抑制			2.0	0.70	-	-
2 砂塵の抑制			-	-	-	-
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-